

□利用実証提案書
■利用実証計画書

平成 28 年 9 月 5 日 Ver.0

テーマ	高精度測位による位置情報蓄積アプリケーションにおける準天頂衛星の有効性を確認する実証	
実証参加機関 (共同機関)	日本電気株式会社	
目的	従来の GNSS 測位では衛星の位置ならびに GNSS 受信機の周辺環境により、十分な精度が得られない場合がある。 本実証では準天頂衛星を用いることにより、周辺環境から受ける精度への影響が軽減されるか評価を行う。	
期間	全体	2016 年 9 月 ~ 2016 年 12 月
	時間・頻度	●時間: 日中時間帯 ●頻度: 所定のルートをも 2 回程度/日、上記期間中の任意の数日
実施場所	●地名: 神奈川県川崎市 ●環境: オープンスカイ(ただし、数百メートル範囲に高層ビルあり) ●その他: 特になし	
構成 ※必要に応じて構成図等を次ページ以降に添付	別紙参照	
内容 ※必要に応じて次ページ以降に添付	<p>●実証概要</p> <p>準天頂衛星対応受信機を所定のルートに沿って測位開始地点から移動、静止を繰り返す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動時の速度は歩行程度。 ・アンテナ設置箇所は高さ約 1.5m。 ・移動する範囲は開始地点から 50m 程度(実施場所制約による) ・測定点数は静止時 60 点程度(1 秒間 1 点の場合) ・取得するデータは NMEA/Raw データ双方 <p>●実証の確認及び評価(利用効果の定量的評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準天頂衛星利用時の測位精度を確認。 <p>●確認時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証終了後に解析を行う。 	
受信信号	<p>●使用する測位信号名を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GPS: L1、L2P、L2C ・GLONASS: L1、L2 ・QZS: L1C/A、L2C 	
受信設備	<p>●使用する測位信号受信機などを記載</p> <p>■貸与品目/数(JAVAD ALPHA G3T/2 台)</p> <p>□持込品目/数(/)</p>	
ソフトウェア	<p>●測位結果確認ソフトウェア</p> <p>□ソフトウェア名称/概要</p> <p>特になし。</p>	
実証前の要求事項	特になし。	
実証時の要求事項	特になし。	
実証後の要求事項	特になし。	
その他		

別紙

■実証システム構成

